



今年も恒例の市内連合音楽会が、11月13日(水)に行われました。そして学校を代表して4年生が出場してくれました。曲目は合唱で『少年少女冒険隊』合奏で『ねこバス』でした。いつもながらの心に沁み入る演奏に、静かに聴き入りました。今年は最前列で鑑賞しましたので、一人ひとりの表情がよく見えました。凜として澄んだ目は、練習に裏打ちされた自信と上條を代表している誇りに満ちているようでした。更に今年は、いつもの全校生と4年生保護者の方々への前日披露に加えて、今、盛んに実践している小中連携として、小津中学校の音楽コンクールで優秀賞を取った学級にも来てもらって、互いにその演奏を披露し合いました。(右写真)これも一つずつ積み上げて、その成果に期待したいと思いません。本当によくがんばったね！見事でしたよ、お疲れさん。



修学旅行Ⅱ



(ツツキ...)少々間が空いてしまってますみません！前号の続きです。

さて二日目、一日目と同じく絶好の秋晴れの下、宿舎をバスが発発して、子どもたちが待ちに待ってたナガシマスパーランドへ！着いてから話を聞くのももどかしそうに、心は早くも絶叫マシンかな?! (上写真) 解散すると一目散に各班ごとにお目当てのマシンに直行です。私はしばらく本部で待機して、それから子ども達の姿を追ってみました。ところが、スパーランドは広い！あまり出会わなくて...どこへ行ったのかな?って感じでしたが、これも一つ感心したのは、出会う班ほとんどが、班行動のきまりをきちんと守って、お互いに協力し合って行動していることです。例えば、やはり絶叫マシン系は、得手不得手があります。そんな場合、不得手な子は荷物係をしてあげていました。そして移動も話し合いながら動いています。ところが最後に聞いたんですが、ごく一部ですが、自由に単独行動をしまくっていた子?!もいたようです。しかしこれも経験値の1つかもしれません。それを自身で気付いて修正していかねば、社会に出た時に大きなリスクを背負うことになるのです。こうして楽しい時間は矢の如く過ぎて行き、バスで帰路につきました。昨年も感じたことですが、2日間の宿泊行事を通して、上條小学校の子ども達の確かな成長を強く感じました。元気溌刺明るくて、それでいてお互いに節度をもって行動する。困った時はこれも互いに親身になって助け合える、本当に素晴らしいと思いました。先生方の普段の指導、保護者の方々の躰、それらの賜物でしょう。良き伝統として受け継いでほしいと思いました。





先月の10月23日に本校初の『オープンスクール』を実施しました。当日は本当にどしゃぶりで、来校者は少ないかな？と思っていたら…なんとなんと400名を超える方々に来ていただきました。ありがとうございました。私もいつも通り3年生の書写の授業を2時間目にして、それ以外は、各教室を回ったんですが、どの学級も落ち着いた雰囲気、子ども達も普段通りに集中して授業に取り組んでいました。そして大休憩・給食準備・給食・お掃除と、授業参観では見られない子ども達と先生方の自然な普段の頑張ってる様子を見ていただきました。本当にありがとうございました！今回は、保・幼・小連携と小中連携も兼ねて、上條幼稚園・保育所はもちろん、私学の幼稚園にも全て案内を差し上げて、また小津中学校の先生方も多数ご参加下さいました。その結果はアンケートに表れていて、大変好評でした。来年度以降のことはまだ未定ですが、前向きに考えたいと思います。その時には、また是非ご参加をよろしく願います。それではアンケートの集計結果です。 ※ご意見ご感想は裏面に掲載しています。

***オープンスクールに参加して**

☆よかった (91.5%) ☆ふつう (8.5%) ☆よくなかった (0%)

***オープンスクールの時間帯**

☆今年の時間帯 (76.9%) ☆もっと長く (23.1%) ☆もっと短く (0%)

***時期について**

☆これぐらい (96.6%) ☆他の時期 (3.4%) …5月、6月、7月、ごろに



昨年度、全国学校給食甲子園で入選し、地区代表に選出されたのを紹介したんですが、ナントナント!!今年は更にその上の全国ベスト12に入り、東京の決勝大会の権利を得たのです。これは大阪府代表としては初の快挙だそうです。日々、子ども達のために安全でおいしい給食を作って下さってる栄養教諭の武田先生と河野さん始め調理員の方々の努力が報われた結果です。本当におめでとうございます！ただ、武田先生がこの11月26日から産前休暇に入られましたので、規定でご本人以外の出場は認められないそうで、残念ながら決勝大会に出場は叶いませんでした。しかし、朝礼でそのことを子ども達に話すと、その日、給食の準備に給食室に取りに行った子ども達が、“おめでとう！”って調理員さん達に声をかけたそうです。正にこれこそ『心食同源』です。完食賞など日々の心づくしがあって、それが子ども達の心と身体を成長させてくれているのです。心から感謝です。決勝出場はならずとも、その値打ちは決して色あせない！そう確信しました。



その武田先生が産前休暇に入りましたので、その代替として、田場佳奈(たば かな)先生が来て下さいました。よろしく願います。



※12月の行事予定表は裏面です。

12月 行事予定表

2	月	個人懇談①、	17	火	ALT 6年、
3	火	個人懇談②、3年社会見学、ALT5年	19	木	給食終了
4	水	教育研究部会、★	20	金	大掃除・一斉下校
5	木	個人懇談③、諸費振替日、	24	火	2学期終業式、
6	金	通級授業終了、	27	金	御用納め、
9	月	図書室冬休み特別貸出期間(~18日)	1月7日	火	3学期始業式
10	火	ALT 1年、	9日	木	給食開始



オープンスクールご意見ご感想

※なるべく集約して掲載しています。

- * 普段の様子が見られてよかったです。
- * 子どももリラックスしていて、のびのびしていた。
- * 給食を見ました。楽しそうに食事をしている姿がほほえましかったです。
- * 他学年の様子も見られてよかった。
- * オープンスクールの方が静かに見られてよかった。
- * 仕事をしていても都合のいい時間に参観できてよかった。
- * 休憩室で途中休憩もでき、お茶のサービスもうれしかった。
- * 来年1年生になる子どもに学校を実感できるよい機会になりました。参考になりました。
- * 高学年になり学校のことを話すことも少なくなったので、子どもとの会話につながった。
- * 丁寧な字・丁寧に細やかな授業・指導に感動した。
- * 先生方の仕事の量が多く、忙しい中、子どもたちを見て下さっているんだと感謝の気持ちでいっぱいになった。
- * 児童が静かに授業を受け、自分の意見をはっきり発表できていたのが印象に残った。
- * 1年生が自分のやるべきことができている、びっくりした。
- * 5年生の算数、先生がわかりやすく説明してくれていた。
- * 休憩時間は5分でちゃんと切り替えできているので、家でよく「早く早く」と言ってしまうことを反省した。
- * 校長先生のお習字、よい取り組みだと思います。
- * 毎年オープンスクールをしてほしい。
- * 午後からもあれば、もっと来られる方も多いかと思う。
- * 親の私語がうるさく気が散っているように思います。私語はつつむべきです。
- * 幼稚園の小さいお子さんを連れて来られている方もいましたが、廊下の棚に登ったり、廊下を走ったり、危ない気がしました。
- * 1時間目から食事中までずっと保護者の目があり、先生がかawaiiそうだと思います。



ねこものがたり⑥

PART2

～ノラの悲しみⅡ～



ノラたちのことを何度か書いてきましたが、その中にベッピン3姉妹がいました。もう2年近くも前になるのでしょうか?…誰の子どもかは分からないのですが、きれいな顔立ちの3匹の姉妹ネコがやってくるようになりました。目がパッチリ大きくて、仲良くエサ場にやってきました。そして月日が流れて行く中で、一時期、全部で10匹近くもやって来ていたノラ達も、少しずつ減っていったのでした。そんな中で、ベッピン3姉妹も徐々に来なくなり、その中で唯一毎日欠かさずやって来ていたのがシッポナでした。シッポが短かったので名付けました。シッポナだけは、他のノラと違うところがあって、それは本当に私にベツタリだったこと、でした。その頃は、私はバイクで通勤していましたので、家に帰るとそのバイクの音を聞きつけて、飛んできてやってきました。そして、私の足元にスリスリ〜って甘えるのです。そして大きな目でじっと見上げながら、ニャア〜ってエサをねだるのでした。メスですから、身体は小柄でかわいいのに、気が強いなのって!どんな大きなオス猫もフギア〜!って蹴散らしてしまうほどです。そんなシッポナに変化が?…そうお腹が大きくなってきてのでした。ですから今まで以上に、シッポナには栄養いっぱいのエサをあげました。でもノラですから、大丈夫かな?…ってヤキモキしながら見守っていました。すると、ある日、お腹すっきり!って感じで姿を現しました。アッ…!産まれたんや…そう確信しました。それが今年の初夏のことでした。しかしどこで、何匹か?分かりません。そうしてそうですねえ…残暑厳しい9月ごろでしょうか?…ついに姿を現しました!そう、ちっちゃなシッポナの子です。ベッピンなシッポナにそっくりで、耳が大きくて、目もクリクリとしたミミでした(耳が大きいから、命名)。仲睦まじい母子でした。駐車場の上に、ブドウ棚があって、そこがお気に入りの遊び場でした。暑い日差しも、そのブドウの葉に遮られて、車の上からブドウの木に飛び乗って、虫を追っかけたりして遊びに夢中になっているミミを、じっと目を細めて見守っているシッポナでした。ですから、悲劇のキキも、巨漢のべべも、ちょうどこれぐらいの時にノラから我が家の一員になったのですが、ミミにはやさしい母親のシッポナがいますから、もちろんそのまま今まで通り見てあげよう…と。最初は、シッポナがエサをねだると特別におっぱいの出がいいように栄養豊富なエサをあげる、それをおっかなびっくりミミが様子を見て…だったのが、1週間もしないうちにシッポナが食べようとすると飛んできて、シッポナを押しつけてパクつくようになりました。ですから、新しいエサ入れを買ってあげました。それは2つの入れ物がくっついて1つになったやつ、でした。それを仲良く2匹で食べて、お腹がいっぱいになると、その場でくっついて眠ったりしていました。(左上写真) このまま幸せな日々が続くと思っていたのに…(ツツク)